

【国語・小3・「食べ物のひみつを教えます」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (3)オ
- (思、判、表等) 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 B(1)イ
- (学びに向かう力等) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

ICT活用のポイント

「書くこと」において、集めた材料をICT端末を活用して付箋に整理し、その付箋を「内容の検討」及び「構成の検討」において活用する。

単元の流れ

調べたい材料を決め、材料を集める。

集めた材料をマッピングで整理する。

文章構成を考え、検討する。

文章を記述し、共有する。

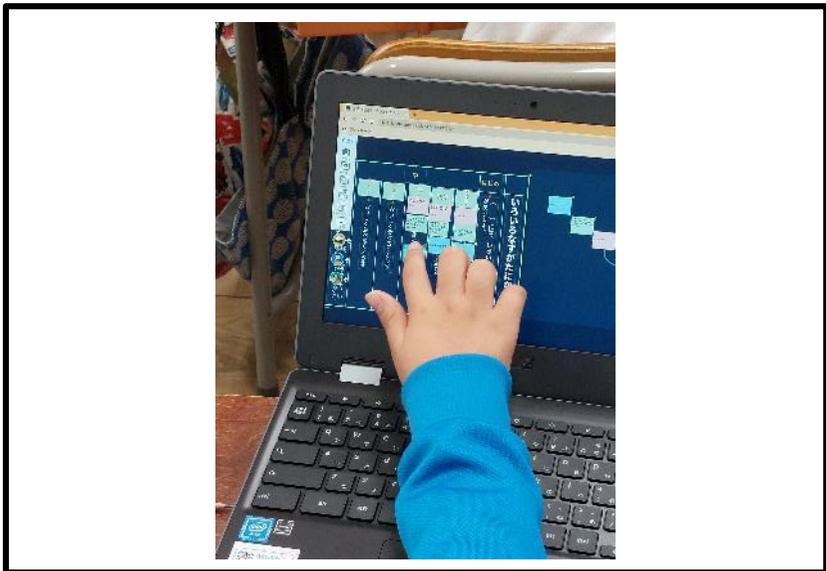
事例の概要

学習支援ソフトの付箋機能を活用し、各自が段落構成を考えた後、周囲と交流し、再構築する学習活動を行った。

- ① 前時に付箋機能を活用して作成したマッピングを基に、段落ごとに書く内容について各自で考える活動。
 - ※ 書くための材料収集の段階で、紹介したい食べ物を活用した様々な料理について調理過程ごとに色分けした付箋を用いてマッピングに整理した。
 - ※ 整理した付箋を段落ごとに区切られた別シート（マッピング）に並びかえながら、段落ごとの内容を考える活動を行った。
- ② 上記①で作成した段落ごとの内容について周囲と交流し、再構築する活動。
 - ※ 「段落ごとの内容が調理過程に沿ったものとなっているか」、「もとの食材から徐々に調理過程が複雑な食品という順序になっているか」という視点から、周囲と交流する活動を行った。

【国語・小3・「食べ物のひみつを教えます」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例における I C T 活用場面①】

◆前時に付箋機能を活用して作成したマッピングを基に、段落ごとに書く内容について各自で考える活動

○ICTを効果的に活用するためのポイント

- ・書く材料をマッピングとして整理する際の色分けした付箋の活用
- ・段落ごとに内容を整理するための教師による別シートの作成

○児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

- ・ I C T 端末を活用することでの並べ替えや修正の容易さ

【事例における I C T 活用場面②】

◆上記①で作成した段落ごとの内容について周囲と交流し、再構築する活動

○ICTを効果的に活用するためのポイント

- ・本時のねらいに基づいた、交流するための比較検討の観点の設定

○児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

- ・ I C T 端末を活用することで、視覚的に捉えることの容易さ
- ・交流後の再構築する際の修正の容易さ

【活用したソフトや機能】

○学習支援ソフト

- ・付箋機能

【事例におけるICT活用の場面②】

